

科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会
人文・社会科学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）
議事要旨

日時 平成31年4月25日（木）16:00～17:30
会場 日本学術会議 5-A（1）会議室
出席者 池尾委員、大山委員、荻部委員、西田委員、廣瀬委員、藤原委員、
町村委員、宮崎委員
事務局 犬塚参事官、高谷審議専門職、大澤審議専門職付

配布資料

- 資料1 第1回評価小分科会での確認事項
資料2 マスタープラン2020策定に関わる利益相反排除の方針
資料3 学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて
資料4 評価小分科会及び委員の役割
資料5 マスタープラン2017において重点大型研究計画に選定された区分
Iの研究計画で、継続条件を満たしかつ継続を希望する研究計画の継続
審査について
資料6 区分IIの研究計画の適否のチェックについて
資料7 人文・社会科学分野の応募提案一覧【非公開資料】
- 参考1 小分科会委員名簿
参考2 第24期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスター
プラン策定の方針
参考3 公募要領
参考4 学術研究領域コード表

議 題

- 1) 役員の選任について
互選により、委員長として町村委員が、副委員長として西田委員が、幹
事として荻部委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。
なお、議事要旨については各委員で内容確認後、委員長に一任すること、
また、委員間でメールアドレスを共有することが承認された。
- 2) 利益相反についての考え方の確認
研究計画・研究資金検討分科会委員でもある大山委員より、審査における

利益相反についての考え方の説明があった。

3) 評価小分科会における審議事項等

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある大山委員より、資料について説明があった。そのうち、提案一覧を確認し、利益相反の生じる委員の有無を確認した。

4) 取りまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード32-1）を選択した提案を除く）の順位づけのとりまとめの審議の方法、及び区分Ⅱのコメントのとりまとめの方法については、委員間でメール等による議論を行ったうえで、第2回の開催の必要性も含めた最終的な判断を、委員長に一任することとした。

また、区分Ⅰの提案の評価方式に関しては、資料3「学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて」の2-(エ)「提案の評価方法について」のⅠ-aに挙げられている6項目を均等に扱うこととした。ただし、提案内容を見た上で、6項目の内、vについては減点対象としては用いないこと、総合評価のさいにはiに留意することを確認した。

さらに、「副」の分野での評価を希望する提案については、当該小分科会にも評価を依頼することとした。

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

文責 荻部 直